

2026年1月5日

三菱UFJ信託銀行株式会社

LBO メザニンファンド1号の運用開始について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 くぼた ひろし、以下 三菱UFJ信託銀行）は、国内レバレッジド・バイアウト（以下、LBO）ファイナンス市場のさらなる発展に資することを目的に、「LBO メザニンファンド1号」（以下、本ファンド）を設立し、このたび運用を開始いたしました。

近年、日本企業においては事業承継や事業再編を背景としたM&Aの重要性が高まっており、これに伴いLBOファイナンス市場も拡大基調にあります。三菱UFJ信託銀行は、かかる外部環境を踏まえ、LBOシニアローンファンドの設立などを通じて国内LBOファイナンス市場における新たな資金提供の手段を創出してまいりました。

LBO取引のスポンサーにとって、調達手段の拡充は喫緊の課題であり、LBOシニア市場と同様にLBOメザニン市場においても十分な投資機会があると考えております。本ファンドは、こうした市場環境において、メザニンローンという新たな資金供給手段を提供すると共に、国内プライベートデット市場の拡大を牽引することを目指します。

三菱UFJ信託銀行は、既存のLBOシニアローンファンド運用で培ったノウハウとMUFGグループネットワーク、資本性ファイナンスの知見を活用し、強固な運用体制を構築します。国内ローン市場において、LBOメザニンはミドルリスク・ミドルリターンの投資機会の提供できるプロダクトです。本ファンドを通じて、国内機関投資家のみならず国内外の多様な投資家への投資機会の提供を目指すと共に、今後もオルタナティブ投資ファンドの拡充を図ることで、資産運用立国の発展に貢献してまいります。

＜本ファンドの概要＞

名称	LBOメザニンファンド1号投資事業有限責任組合
運用者	三菱UFJ信託銀行
出資金予定額	100億円
運用開始日	2026年1月5日
ファンド期間	10年間
投資対象	国内企業向けLBOメザニンローン

＜メザニンローンについて＞

メザニンローンは、企業買収などの資金調達においてシニアローン（優先債務）と株式（エクイティ）の中間に位置する資金調達手段です。一般的には劣後ローンや優先株式の形態をとり、シニアローンより返済順位が低く、相対的にリスクが高い為、利回りはシニアローンより高く設定されることが多く、LBOにおける柔軟な資本構成を可能にする重要なファイナンス手法です。

以上